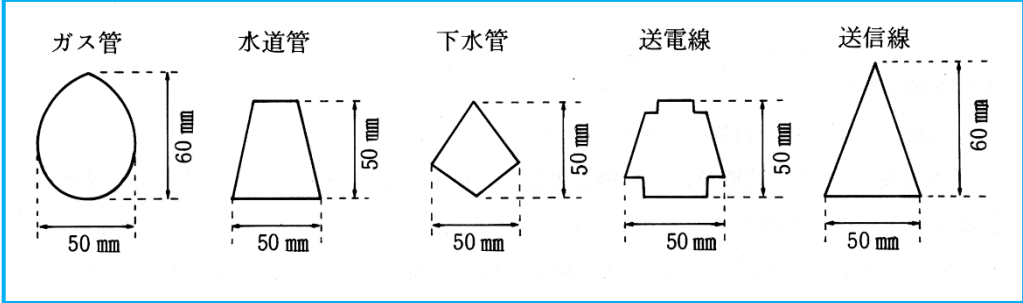
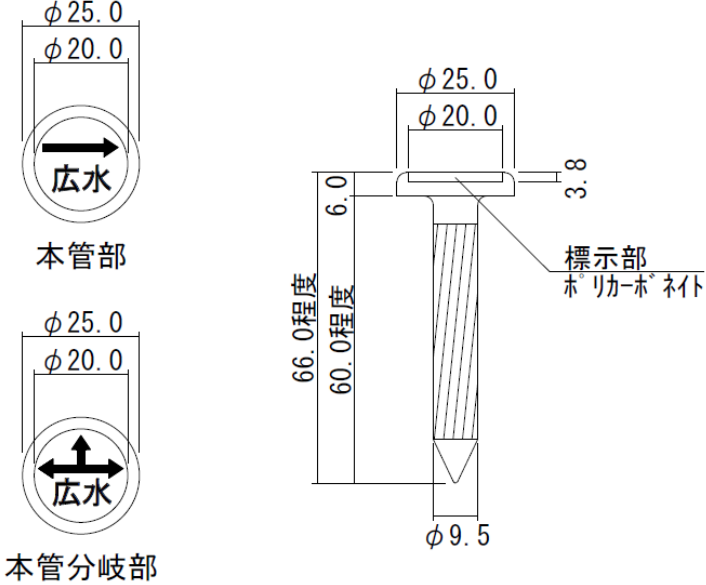
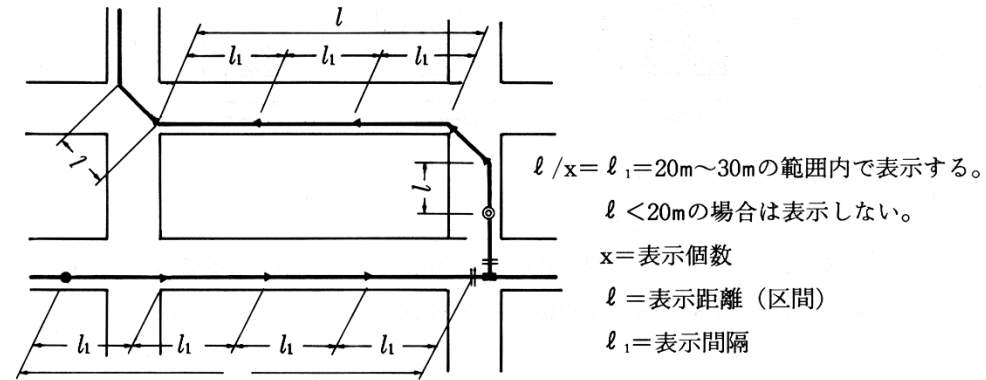


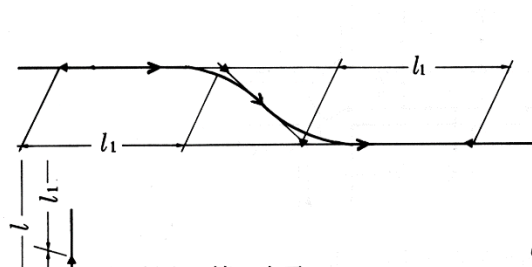
水道工事共通仕様書 共通仕様書編（第2編 水道工事編）新旧対象表

現行（令和3年10月版）	改定（令和4年4月版）	備考
<p>第2編 水道工事編 第3章 管布設工事 第2節 管布設工事</p> <p>3-2-31 地下埋設物標示板</p> <ol style="list-style-type: none"> 埋設管位置の真上路面に、地下埋設物標示板を設置しなければならない。 材質は、ポリエステル系合成樹脂とし、周囲は105℃で溶解する接着剤を塗布し、発注者が指定した製品とする。  <p>図 3-17 地下埋設物標示板</p> <ol style="list-style-type: none"> 表示方法は、図 3-18 によるものとする。 標示板の設置にあたっては、舗装前に各占有者立会のうえ、取付位置を確認し、正確に設置しなければならない。 表層（アスファルト合材）の敷均しを行った後、標示板の表示高が転圧後の高さになるよう埋設し、その周囲を手直したうえで、マカダムローラ及びタイヤローラ等で転圧しなければならない。 埋設管位置がインターロッキング舗装、区画線設置及び視覚障害者誘導標示設置部の場合は、設置位置等について事前に監督員と協議しなければならない。 	<p>第2編 水道工事編 第3章 管布設工事 第2節 管布設工事</p> <p>3-2-31 地下埋設物標示紙</p> <ol style="list-style-type: none"> 標示紙の設置については、布設位置の真上路面に、図 3-17 に示す地下埋設物標示紙を設置しなければならない。 材質については、標示紙本体はSUS304とし、標示部はポリカーボネイトとする。また、標示面の下地については青色、矢印及び文字（広水）は黒色とし、文字の書体についてはゴシック体（太字）、大きさは19ポイントとする。  <p>図 3-17 地下埋設物標示紙（単位:mm）</p> <ol style="list-style-type: none"> 設置位置は、図 3-18 によるものとする。 標示紙の設置にあたっては、設置位置を事前に監督員に確認し、舗装復旧完了後、専用ドリルもしくは、ドリル及び座ぐりビットで削孔により孔をあけ、エポキシ系ボンドを流し込み、標示面が路面高さになるよう設置しなければならない。 なお、インターロッキング舗装部、区画線部及び視覚障害者誘導標示部は原則、設置しないこととする。 	<p>標示板の製造中止による変更</p>

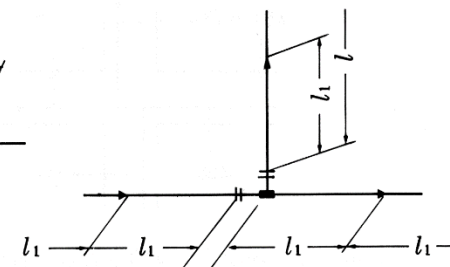
(1) 一般例



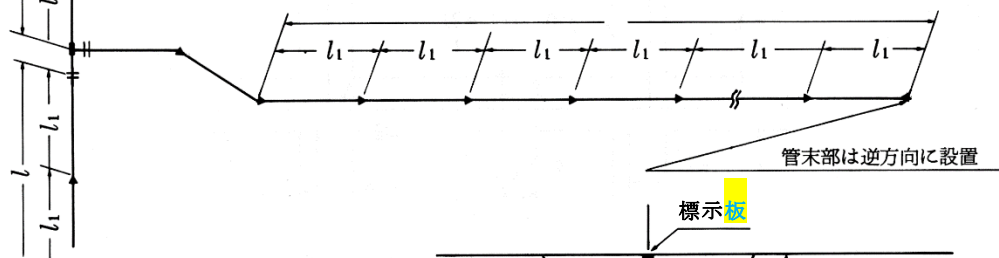
(2) 屈折箇所の表示



(3) 分岐箇所の表示



(4) 行止り管の表示



- 凡例
- 標示板
 - || 仕切弁鉄蓋又は弁室
 - 消火栓鉄蓋
 - 空気弁室鉄蓋

(5) 標示板の形状

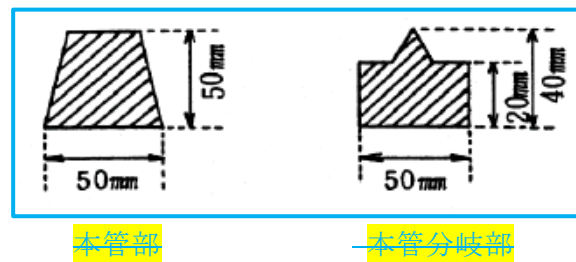
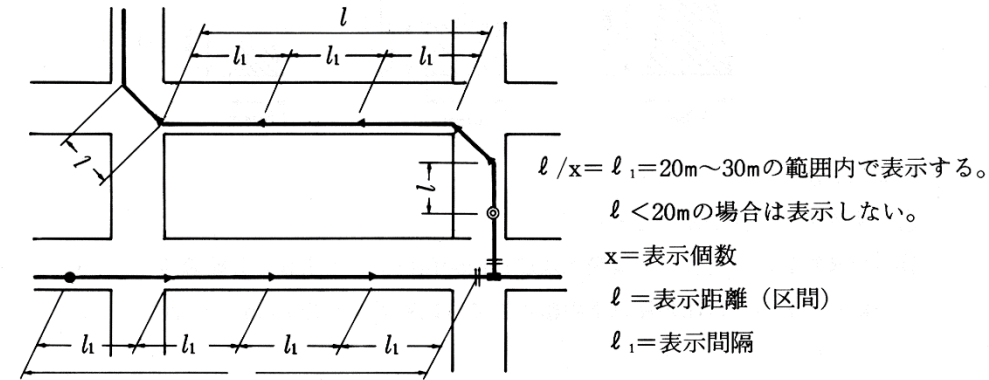
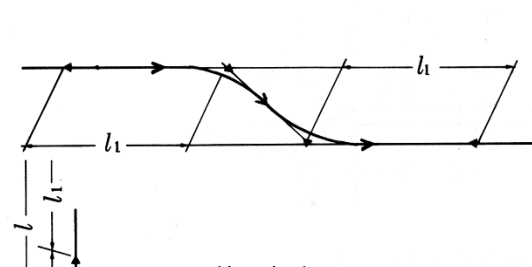


図 3-18 地下埋設物標示板設置位置参考図

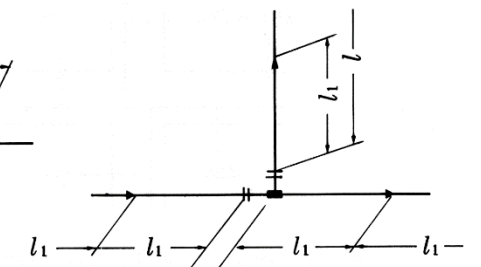
(1) 一般例



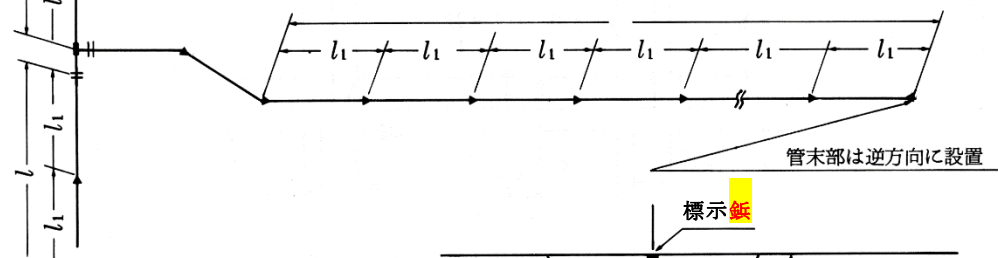
(2) 屈折箇所の表示



(3) 分岐箇所の表示



(4) 行止り管の表示



- 凡例
- 標示板
 - || 仕切弁鉄蓋又は弁室
 - 消火栓鉄蓋
 - 空気弁室鉄蓋

(5) 削除

図 3-18 地下埋設物標示板設置位置参考図